

2010 年度事業報告書

一般財団法人ダイバーシティ研究所

〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-6-19 木川ビル5 A

TEL : 06-6390-7800 FAX : 06-6390-7850

E-mail: office@diversityjapan.jp URL : <http://www.diversityjapan.jp/>

2010 年度事業総括 ～新たな「節目」を迎えて～

2010 年度はダイバーシティ研究所にとって節目の年でした。財団法人としての初めての年度であり、東京事務所・大阪事務所の2事務所体制でスタートした初めての年でもありました。事業では、3年間取り組んできた人口変動による課題に正面から取り組んだ笹川平和財団の事業が完了。また、「社会的責任のための円卓会議」では「ともに生きる社会の形成」ワーキンググループ副幹事として、協働戦略の策定に参画するなど、新しい動きにも積極的に参画しました。そして3月11日には東日本大震災が発生し、「ダイバーシティに配慮した避難所運営」についてのメッセージの発信や「被災地と NPO をつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)」の設立に代表幹事として関わることとなりました。

後年、ふりかえって、社会全体にとって「あの年がターニングポイントだったな」と思えるような年が、これまでも何度かありました。阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件が発生した1995年は、まさにそうした年でした。2011年はまさにそうした年になると思います。阪神・淡路大震災でのボランティア活動がきっかけとなって、ボランティアや NPO への関心が高まったと言われていますが、日本における市民活動のための法制度を考える動きは1994年からありました。マルチステークホルダープロセスを軸とする社会責任に関する国際ガイドライン「ISO26000」が2010年11月に発効し、多様な担い手間の協働が進みつつある中で東日本大震災が発生したことは、後年、何らかの意味が語られることとなるでしょう。

多様な担い手が協働して社会を形成するムーブメントにとって、2011年が「元年」と位置づけられるよう、これからも精進してまいります。引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願いします。

一般財団法人 ダイバーシティ研究所
代表理事 田村太郎

目次

2010 年度事業総括	1
2010 年度事業計画及び報告、2011 年度実施有無	2
1. 調査・研究事業	3
2. CSR コミュニケーション事業	6
3. 研修・コンサルティング事業	8
4. アドボカシー事業	11
5. その他	12
資料 1 講師派遣一覧	13
資料 2 執筆一覧	14

◆2010 年度事業計画および報告、2011 年度実施有無

	2010年度事業計画	事業報告	2011年度計画
調査研究事業	CSRとダイバーシティ ・「CSR報告書調査」を継続して実施。調査は「CANPAN・CSRプラス運営事務局」の事業として実施し、企業ごとの調査結果をウェブサイト「CSRプラス」上で公開するほか、調査結果分析レポートを作成する。	CSR報告書情報開示度調査(6回目)、世界に誇る日本のCSR先進企業実態調査(2回目)を実施。CSRプラス上でそれぞれの分析レポートを公開。→P3	△ CSR報告書情報開示度調査は継続。CSRレーティング調査は休止。新たな形での調査を開始する。
	人口変動とダイバーシティ ・笹川平和財団の「人口変動の新潮流への対処」事業に、今期も継続して参画(3カ年事業最終年)。「社会統合・多文化共生」「移民政策」の2つの分科会および国内の外国人労働者の働く現場を調査する「実態調査班」の事務局業務を担当。	「社会統合・多文化共生」分科会では、全国4か所での多文化共生ステークホルダーダイアログを実施。移民政策分科会ではブラジルにおける高齢者介護をテーマにした。実態調査班の調査結果は事例集として発行。本事業の研究成果はダイヤモンド社より出版された→P3	△ 事業期間は2010年度で終了。2011年度は事業で構築したモデルを全国に展開させる事業を新たに行う。
	社会課題とダイバーシティ ・社会課題をリサーチし起業家が取り組むべき課題や政策的課題を明らかにする「ソーシャルアジェンダラボ(主催:ETIC.)」に参加。リサーチを担当する研究員のコーディネートや社会課題の整理に関わる。	社会的少数者の課題をテーマとするチームにアドバイザーとして参加。リサーチ結果は、同事業のウェブサイトに掲載済。→P5	- 事業期間終了。
	その他ダイバーシティ調査・研究 ・上記に加え、研修・コンサルティング事業と連動したダイバーシティ視点からのCSR調査・研究、人の多様性と雇用に関する調査・研究。地域で導入・活用できるダイバーシティマネジメントのモデルの構築。	実施せず	○ 事例づくり、担い手育成のキックオフとして、神戸にてダイバーシティ、社会起業家、都市政策をキーワードにしたフォーラムを開催。
	市民と企業のCSRコミュニケーション促進 ・ダイバーシティとCSR、地方・中小企業とCSRをテーマとしたセミナーの開催に協力し、CSRをキーワードに地域で企業と市民とのコミュニケーションをサポート。 ・「CANPAN・CSRプラス運営事務局」が主催する「第4回CSR大賞」の運営に協力。自薦・他薦による企業のエントリーや選考委員会の補助、インターネット投票による受賞企業の決定にかかるサポートを行う。 ・「CSRを応援するNPO・市民ネットワーク」が実施する「より良い世界のための買い物ガイド(SFBW) 日本版」作成に参画。今期は事務局は担当せず幹事団体の一員として、セミナーの開催や評価手法の確立に向けた取り組みに参加。これまでに引き続いてCSRを介した消費者と企業とのコミュニケーションのあり方に新しい可能性を見いだすことを目標とする。	「先進事例に学ぶCSR担当者ワークショップ」開催→P6 57社のエントリーから12社がノミネート。主に取材および原稿作成を担当した。→P6 全国3か所でCSRフォーラムと、「より良い世界のための買い物ガイド(SFBW) 日本版」調査票を検証するクローズドセミナー実施。→P7	○ 東日本大震災復興支援におけるCSRを後押しする形で継続する。 ○ 「より良い世界のための買い物ガイド(SFBW) 日本版」本調査を実施。
業 研 修 コ ン サ ル テ ィ ン グ 事	ISO26000/SRをキーワードにした研修 ・ISO26000の発行を目前に控え、各界の動きを継続的にウオッチし、勉強会や公開セミナーを主催・共催し、依頼に応じて講師派遣や研修受託に応じる。	講師派遣15件。	○ 継続。
	社会的少数者自身によるコミュニティづくりの支援 ・岐阜県で継続的に取り組んでいる「在住外国人のコミュニティ育成事業」に今期も参画し、外国人コミュニティリーダーへの研修や事業のコンサルティングを実施。また同事業を通して、社会的少数者のコミュニティづくりやリーダー育成のノウハウをとりまとめることにも挑戦する。	研修(3回)と個別コンサルティング、フォローアップワークショップを実施。→P8	○ 継続。
	その他ダイバーシティコンサルティング ・CSRやダイバーシティに関連した知識やネットワークを活かし、外部からのコンサルティングの依頼に引き続き応える。	欧州経済社会委員会日欧合同ワークショップ参加、「地域で進めるワーク・ライフ・バランス」「What'sハタラク〜100人100色workstylecafe〜」開催→P9	○ その他コンサルティングについても引き続き継続。
活 シ ア 動 ド ボ カ	社会的責任(SR) ・「CSRを応援するNPO・市民ネットワーク」と「社会的責任向上のためのNGO／NPOネットワーク」に、今期も引き続き幹事団体として参画。また、「社会的責任向上のためのNGO／NPOネットワーク」からの代表協議者として「社会的責任のための円卓会議」に戦略部会委員として田村が参画。「社会的責任のための円卓会議」では、「ともに生きる」ワーキンググループ副幹事として、2011年3月までにとりまとめる行動計画づくりを策定した。	いずれも引き続き参画。「社会的責任のための円卓会議」では2011年3月に行動計画を発表→P11	○ 継続。
他 そ の	東日本大震災の被災地への支援 3月11日発生した東日本大震災に対して、ダイバーシティに配慮した避難所運営のブログを立ち上げ情報提供に努めるとともに、複数の支援プロジェクトに参画した。		○ 継続してプロジェクト運営に参画。

2010 年度事業報告

1. 調査・研究事業

◆ CSR とダイバーシティ

CSR 報告書情報開示度調査

(清水)

ダイバーシティ研究所では「CANPAN CSR プラス」の運営に協力し、CSR 報告書情報開示調査を行っています。本年度の調査対象は 581 社（東証一部上場企業のうち CSR 報告書を入手できた企業）です。CSR に関心を持つ市民が調査にあたるのが特徴で、今回は 8 名のコーディネーターと 39 名の調査員（学生中心）が従事しました。調査結果は 2011 年 4 月に「CANPAN CSR プラス」にて公開されました。

表 CSR 報告書調査 対象社数推移

	06 年度	07 年度	08 年度	09 年度	10 年度
対象社数	414 社	498 社	580 社	557 社	581 社

世界に誇る日本の CSR 先進企業実態調査

(山本、前川)

2009 年度に引き続き、前年度の CSR 報告書情報開示調査において情報開示度が高い上位 100 社を対象に、各企業の取り組みの内容（質）について、5 名の上級調査員と事務局が調査を行いました。その調査データは各企業の担当部署にインターネット上での確認・修正を依頼し、59 社より回答を得ました。実態分析結果については 10 月に「CANPAN CSR プラス」にて公表、2011 年 4 月には分析結果の英語版も公表されました。

◎参考 CANPAN CSR プラス

http://canpan.info/csr_index_view.do

◆ 人口変動とダイバーシティ

笹川平和財団「人口変動の新潮流への対処」事業

・第 3 分科会「社会統合・多文化共生」分科会

(分科会主査：田村、分科会委員：鈴木・前川)

移民の円滑な受け入れと地域における共生社会の形成のための「地域モデル」の構築に関する研究を行っています。3 年目を迎えた本年度は地域モデルのブラッシュアップのための「多文化共生ステークホルダー・ダイアログ」を全国 4 か所（名古屋市、大阪府豊中市、宮城県仙台市、東京都新宿区）で開催しました。また成果報告会である政策提言フォーラムにも計 2 回（12/3、3/8）、参画しました。

・第 2 分科会「移民政策」分科会

(分科会委員：田村、事務局：鈴木)

ブラジルにおける高齢者介護をテーマに、田村が委員として参加しました

・実態調査班（調査員：鈴木・前川、事務局：鈴木）

外国人雇用の実態調査に鈴木、前川が参加し、8 月に調査を終えました。『外国人の就労をめぐる実態調査―事例集―』として発行されています。

★ダイヤモンド社書籍「労働鎖国とニッポン崩壊」（田村・鈴木）

研究事業の報告書をリライト、2011 年 3 月に一般書籍としてダイヤモンド社から発行されました

2010 年度事業報告

1. 調査・研究事業

◆ 人口変動とダイバーシティ

多文化共生セミナー「韓国の取り組みから考えよう」開催（鈴木）

ステークホルダー・ダイアログ（仙台）の前日に、一般向けセミナーを実施しました。日本と同様の課題を抱える韓国の多文化共生・社会統合政策および民間の担い手に焦点を当て、東北型の多文化共生を考える場をもちました。

日時	2010 年 9 月 9 日（木）13:30-16:30
場所	仙台国際センター
内容	第 1 部 基調報告「韓国の多文化共生施策と地域社会の取り組み」 第 2 部 パネルディスカッション「東北型多文化共生の未来」
登壇者	李 善姫さん（東北大学国際高等融合領域研究所助教） 西上 紀江子さん（国際ボランティアセンター山形理事・中国語通訳/相談員） 桔川 純子さん（日本希望製作所 事務局長） 紅邑 晶子さん（せんだい・みやぎ N P O センター常務理事・事務局長） 呉 正培さん（東北大学大学院文学研究科 助教）、 田村 太郎

表 第 3 分科会開催記録

5 月 21 日（金）	第 1 回 研究会
7 月 7 日（水）	第 2 回 研究会
8 月 29 日（日）	ステークホルダー・ダイアログ（名古屋第 1 回）
9 月 1 日（水）	ステークホルダー・ダイアログ（名古屋第 2 回）
9 月 10 日（金）	ステークホルダー・ダイアログ（仙台）
9 月 17 日（金）	ステークホルダー・ダイアログ（豊中）
9 月 22 日（水）	第 3 回 研究会、 ステークホルダー・ダイアログ（新宿）
10 月 19 日（火）	第 4 回研究会
12 月 3 日（金）	フォーラム「人口減少社会と移民政策 — ヨーロッパの成功と失敗に学ぶ」
3 月 8 日（火）	フォーラム「人口減少社会と日本の選択 — 外国人労働者問題に関する提言」

◎参考 笹川平和財団「人口変動の新潮流への対処」事業 <http://blog.canpan.info/jinkou/>

【報告】多文化共生セミナーin 仙台（ダイバーシティ研究所研究員通信）

<http://blog.canpan.info/diversityjapan/archive/104>

2010 年度事業報告

1. 調査・研究事業

◆ 社会課題とダイバーシティ

NPO 法人 ETIC.「ソーシャルアジェンダラボ」参画（田村）

社会的少数者の課題をテーマとするリサーチチーム
のアドバイザーとして、リサーチプロジェクトを推進
しました。

7月 第一期プロジェクト 開始

8月 中間発表会

10月 最終報告会

◎参考

NPO 法人 ETIC.「ソーシャルアジェンダラボ (SAL)」
<http://www.social-agenda.jp/>

2010 年度事業報告

2. CSR コミュニケーション事業

◆ 市民と企業の CSR コミュニケーション

「第 4 回市民が選ぶ CSR プラス大賞」企画運営（田村、清水）

CSR の取り組みを市民の視点から応援する「CANPAN CSR プラス大賞」の 4 回目を実施しました。今回は従来の形式から変更し、自薦他薦により広くエントリーできるようにしました（09 年度までは、CSR 情報開示度の高い一部上場企業と NPO からの推薦を受けた地域の中小企業のみがエントリー）。

8 月の審査会を経て、57 社のエントリーから 12 社を投票対象として選出。9 月の市民投票では、約 24,000 票の投票がありました。（株）インサイトによる分析結果およびコメントは企業にフィードバックされました。

★市民が選ぶ CANPAN 第 4 回 CSR 大賞連動企画「未来と今をつなぐ CSR フォーラム」

日時	2010 年 11 月 8 日（月）13:00-17:00
場所	日本財団ビル 1F バウルーム
内容	基調講演「未来社会を先取りする CSR とは」 CANPAN CSR 大賞 2010 表彰式、受賞企業によるプレゼンテーション パネルディスカッション「持続可能な経営のために必要なステークホルダーの巻き込み」
登壇者	末吉竹二郎氏（国連環境計画金融イニシアチブ特別顧問） CSR 大賞受賞企業（（株）マルハニチロホールディングス、（株）クボタ、マテックス（株）） 岩附由香氏（ACE）、川北秀人氏（IIHOE[人と地球と組織のための国際研究所]） 町井則雄氏（日本財団）、田村太郎
参加者	企業の CSR 担当者を中心に 100 名超

CSR 担当者向け勉強会の企画運営（前川、清水）

CANPAN CSR プラスの実施事業の一環として、CSR 担当者向け勉強会を実施しました。気候変動、人口変動、グローバル化といった企業を取り巻く環境の変化に焦点を当て、有識者の講演と先進企業による事例発表という構成で進めました。

★先進事例に学ぶ CSR 担当者ワークショップ～「日本の先進企業調査 100 社」を元に考える CSR のこれから

	第 1 回	第 2 回	第 3 回
日時	9 月 14 日(火)13:00-16:00	10 月 19 日（火）同刻	11 月 9 日（火）同刻
場所	日本財団ビル 2F 会議室	CANPAN センター会議室	CANPAN センター会議室
内容	資源確保と持続可能な企業戦略	市場・社会の多様性を生かす組織づくり	グローバル時代のサプライチェーン・マネジメント
登壇者	沖大幹氏（東京大学生産技術研究所） 事例発表：サッポロビール（株）	川北秀人氏（IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]） 事例発表：ブラザー工業（株）	黒田かをり氏（CSO ネットワーク） 事例発表：（株）バンダイ

2010 年度事業報告

2. CSR コミュニケーション事業

◆ 市民と企業の CSR コミュニケーション

「CSR を応援する NPO・市民ネットワーク」参画（田村）

2007 年から、関西の NPO/NGO で構成する「CSR を応援する NPO・市民ネットワーク」に参画し、「より良い世界のための買い物ガイド（SFBW）日本版」の作成に参加しています。

2010 年度は全国 3 か所での CSR フォーラムと前年度に作成した「より良い世界のための買い物ガイド（SFBW）日本版」調査票を検証するクロースドセミナーを実施しました。

また、2011 年 2 月に行われた国際協力のお祭り「ワン・ワールド・フェスティバル」においては、シンポジウム「CSR をめぐる新潮流 ～企業が NGO/NPO に求めるチカラとは？～」を開催しました。

★Shopping for the better world 買い物が世界を変える！CSR フォーラム 2010

	新潟	大阪	東京
日時	7 月 28 日（水） ※29 日は新潟 NPO 協会による地域企業訪問ツアー	9 月 1 日（水）	9 月 14 日（火）～15 日（水）
場所	ガレソコープシティ花園	大阪 NPO プラザ	総評会館
登壇者	東北電力 総合フードサービス 新潟大学「にいい SR」部 田村太郎	杵本育生氏（環境市民） 大野満氏（トヨタ自動車） 吉川公二氏（フェリシモ） 森岡孝二氏（関西大学）	足達英一郎氏 （日本総合研究所） 鈴木裕章氏（イオン） 岩附由香氏（ACE） 杵本育生氏 田村太郎

★「CSR をめぐる新潮流 ～企業が NGO/NPO に求めるチカラとは？～」

日時	2011 年 2 月 5 日（土）15：00-17：00（ワンワールドフェスティバル）
場所	大阪国際交流センター（アイハウス）
内容	・「エンゲージメントで進める SR～『協働』から『総働』へ～」 ・パネルディスカッション ～NPO/NGO に求められるチカラとは？～
登壇者	・田村 太郎 ・広瀬 雄樹氏（積水ハウス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 CSR 室室長） ・柴崎 敏男氏（三井物産株式会社 CSR 推進部社会貢献室シニアアドバイザー） ・菊池 信孝氏（NPO 法人インターナショナル代表）

◎参考 CSR を応援する NPO・市民ネットワーク <http://www.i-nsl.org/sbw.html>

2010 年度事業報告

3. 研修・コンサルティング事業

◆ 社会的少数者によるコミュニティづくり

「外国人コミュニティサポーター研修」の受託(田中・鈴木)

本年度は、岐阜県国際センターへの事業協力として、東海地域の外国人十数名を対象に、起業に向けての研修（3回）や個別コンサルティングを行いました。5年目を迎える本事業は年々、参加者の数も増えており、外国人住民のコミュニティワークに対する意識を高め、多文化共生社会の形成に資するパイロット事業となっています。

8月8日	第1回「岐阜県外国人コミュニティリーダー等育成研修」
8月22日	第2回
9月12日	第3回
1月23日	フォローアップワークショップ

◆ その他ダイバーシティコンサルティング、研修

「欧州経済社会委員会 日欧合同ワークショップ」参加（鈴木）

EUの諮問機関であるEESC(欧州経済社会委員会)が主催するワークショップ(ブリュッセル)にビデオ参加。EESCは企業、労働組合、NPOから構成されるマルチステークホルダーでの審議体で、日本の円卓会議へ高い関心を持っています。

★CIVIL SOCIETIES OF THE EU AND JAPAN WORKING TOGETHER ON GLOBAL CHALLENGES

日時	2010年5月28日
場所	ブリュッセル（ビデオ参加）
発表内容	"The current state of diversity in Japan from the viewpoints of CSR and demographic change"
発表者	鈴木 暁子

◎参考 EESC (EUROPEAN ECONOMIC AND SOCIAL COMMITTEE) <http://www.eesc.europa.eu/>

◎参考 ダイバーシティ研究所研究員通信（動画を掲載しています）
<http://blog.canpan.info/diversityjapan/archive/92>

2010 年度事業報告

3. 研修・コンサルティング事業

◆ その他ダイバーシティコンサルティング、研修

シンポジウム「地域ぐるみで進めるワーク・ライフ・バランス」開催（鈴木）

組織単体で進めるのではなく、地域全体で進めるワーク・ライフ・バランス（WLB）について（今回は特に子育て支援にフォーカス）、事例発表を行い、地域社会での WLB を進める機運を醸成するきっかけとなりました。

学生セミナー「WHAT'S ハタラク〜100 人 100 色 WORK STYLE CAFE〜」開催（清水）

学生の間でも CSR という言葉は広まってきており、社会に貢献する仕事をしたいと願う人が増えていきます。一方で、CSR を知らない人にとっては敷居が高い分野のようです。CSR をより広く広めたいという気持ちを持った 4 名の学生とセミナーを実施しました。企業・NPO・行政のそれぞれの分野から社会に貢献する仕事をしている方をお招きし、学生に関心の高い「働く」ということを入り口としてお話を伺いました。

★「地域で進めるワーク・ライフ・バランス」

日時	2月25日(金)14:00~17:00
場所	近畿労働金庫肥後橋ビル
内容	基調講演「持続性のある地域づくりのためのワーク・ライフ・バランス実現推進に向けて」 パネルディスカッション「多様な担い手の連携で進めるワーク・ライフ・バランス」
登壇者	北尾真理子さん（ダイバーシティ・コンサルタントひょうご仕事と生活センター主任相談員） 澤田 薫さん（（財）大阪女性協会 経営戦略主幹） 奥畑 桂子さん（石堂硝子株式会社 業務部課長） 高 亜希さん（NPO 法人ノーベル 代表理事） 法橋 聡さん（近畿労働金庫 地域共生推進室 室長） 渋谷 典子さん（NPO 法人参画プラネット 代表理事）

2010 年度事業報告

3. 研修・コンサルティング事業

◆ 講師派遣

2010 年 4 月～2011 年 3 月の期間、27 件の研修・講演会へ講師派遣を行いました（内訳：SR15 件、ダイバーシティ 4 件、災害時対応 2 件、その他 6 件）。詳細は末尾の「資料 1：講師派遣一覧」をご参照ください。

表 講師派遣件数

	2010 年度	2009 年度
CSR／SR（社会責任）	15 件	6 件
ダイバーシティ	4 件	2 件
災害時対応	2 件	2 件
就労支援	—	3 件
その他	6 件	4 件
合計	27 件	17 件

★WHAT'S ハタラク～100 人 100 色 WORK STYLE CAFE～

日時	2 月 24 日(金)18:00～21:00
場所	海洋船舶ビル（CANPAN センター）
内容	「ハタラク」ってなんだろう？「25 歳の私」 パネルディスカッション「あなたにとって「ハタラク」とは？」
登壇者	端田 晶さん（サッポロ HD(株)CSR 部長、サッポロビール(株)CSR 部長） 山中 聖子さん（横浜市総合保健医療センター 精神保健福祉士） 増田 響子さん（東京大学大学院 国際保健学専攻 修士課程） 梅原 みどりさん（ソフトバンクモバイル（株）総務本部 CSR 推進部） 漆原 隆浩さん（東京都職員、Tokyo Think Sustainability（T2S）主催者） 田村 太郎

2010 年度事業報告

4. アドボカシー活動

◆ 社会的責任 (SR)

「社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク (NN ネット)」参画 (田村、前川)

毎月の幹事会および啓発チームとしての事業に参画しています。2010年5月には設立から第3回目の総会を迎えました。2011年3月17日(木)に「『新しい公共と社会的責任に関する円卓会議—この一年』報告会～マルチステークホルダーでの地域課題への取り組み方～」を名古屋で開催予定でしたが、震災の影響により中止となりました。

「社会的責任に関する円卓会議」への参画 (田村、前川)

NN ネットの代表協議者として田村が選出され、「社会的責任に関する円卓会議」の総合戦略部会委員として関わっています。また、「ともに生きる社会の形成」ワーキンググループでは、副幹事グループとして連合とともに事務局を務めました。取りまとめられた協働戦略は、同円卓会議のウェブサイト公開されています。

表 社会的責任に関する円卓会議 「ともに生きる」ワーキンググループ実施履歴

4月20日	第4回意見交換会実施
7月5日	準備会合実施
7月21日	第1回ワーキンググループ実施
8月23日	第2回ワーキンググループ実施
9月15日	第3回ワーキンググループ実施
10月27日	第4回ワーキンググループ実施

◎参考 社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク <http://www.sr-nn.net/>

◎参考 社会的責任のための円卓会議 <http://sustainability.go.jp/forum/>

◆ 経済同友会

関西経済同友会での提言活動 (田村・山本・鈴木)

「日本の次世代育成を考える委員会」「安心できる社会を考える委員会」の2委員会に参画。地域社会や NPO の立場から、大阪の今後について、提言案の策定に参画しました。

◎関西経済同友会 <http://www.kansaidoyukai.or.jp/>

2010 年度事業報告

5. その他

◆ 東日本大震災支援活動

3月11日に発生した東日本大震災にあたり、以下の活動を行っています。

「スペシャルサポートネット関西」参画

「スペシャルサポートネット関西」に世話人団体として参画しています。被災地における専門性が必要な(一般的な支援ではカバーされない、されにくい)支援を中心に行う団体のネットワーク組織です。

「ダイバーシティに配慮した避難所運営」ブログ

少数者の特別なニーズに関する避難所運営情報をブログ形式でまとめました。

「被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)」参画

「つなプロ」に幹事団体として参画しています。多様な配慮を必要とする方々の避難生活を支えるため、(特)せんだい・みやぎNPOセンターと、全国のNPOが連携して立ち上げたプロジェクトです。3月26日から4月30日まで、スタッフとして前川を派遣しました。

◎参考 スペシャルサポートネット関西 <http://www.hnpo.comsapo.net/portal/ssnk/portal.index>

つなプロ <http://blog.canpan.info/tsunapro/>

ダイバーシティに配慮した避難所運営 http://blog.canpan.info/d_hinansho/

◆ 論文・原稿執筆

末尾の「資料2：執筆一覧」をご参照ください。

◆ 事務局業務

大阪大学人間科学部インターン受け入れ(鈴木)

協定に基づき、8月～12月まで、CSR報告書調査担当として、1名を受け入れました。

NGO/NPO就職・転職キャリアフェアへの出展(鈴木)

NPO法人ユースビジョン主催のNGO/NPO就職・転職キャリアフェア(2011年1月29日実施)にブース出展しました。

東京事務所開設(前川)

2010年4月、東京事務所を西早稲田に開設しました。CSOネットワークとの合同事務所です。このお披露目を兼ね、オープンハウスを6月14日(月)に開催しました。

2010 年度事業報告

資料 1 : 講師派遣一覧

日付	研修名	主催者	内訳
4 月 20 日	ウェブアクセサビリティに関する調査研究 「人の多様性に配慮したウェブサイトのあり方」	(特)CANPAN センター	SR
6 月 2 日	平成 22 年度企業・団体の社会貢献活動セミナー 「CSR から地域で進める SR へ」	滋賀県社会福祉協議会 淡海フィラ ンソロピーネット	SR
6 月 26 日	つながれとまつり 2010 シンポジウム 「男女共同参画の視点で考える CSR」	特定非営利活動法人 参画プラネット	SR
7 月 28 日	2010 CSR フォーラム(新潟) 「市民目線の CSR 調査からみた『CSR のこれから』」	CSR を応援する NPO ネット	SR
9 月 14 日	2010 CSR フォーラム(東京) 「市民目線の CSR 調査からみた『CSR のこれから』」	CSR を応援する NPO ネット	SR
9 月 24 日	市民活動フェスタ 2010 講演会 「地域を動かす会社のちから」	松江市市民活動センター	SR
9 月 27 日	みよし市まちづくり・人材育成事業連続講座 市民力 UP ワーク「まちづくり、まち育ては、市民の 手で」「まちづくり・まち育てに必要な「視点」を学ぼう」	特定非営利活動法人 あいち NPO 市民ネットワークセン ター	その他
10 月 9 日	災害時におけるネットワークの構築 「災害時におけるネットワークの構築について ～ 災害弱者をつくらないために～」	環境と子どもを考える会(石巻)	災 害 時 対 応
10 月 15 日	平成 22 年度社会参画セミナー 「男女共同参画の視点で考える、CSRとダイバーシ ティ戦略」	三重県	SR
11 月 1 日	みよし市まちづくり・人材育成事業連続講座 市民力 UP ワーク「まちづくり、まち育ては、市民の 手で」「みよし市の協働のまちづくりのテーマを考え よう」	特定非営利活動法人 あいち NPO 市民ネットワークセン ター	その他
11 月 1 日	「多様な人々が安心して暮らせる地域」はどうすれ ば実現できるのか？～人的多様性配慮型社会の 形成と社会実業家の育成～	グローバルコンパクトジャパンネッ トワーク	ダ イ バ ー シ ティ
11 月 4 日	市民が選ぶ CANPAN 第4回 CSR 大賞連動企画 「未来と今をつなぐ CSR フォーラム」 「市民が選ぶ CSR 企業とは～過去の投票動向から 見据える今後の CSR の展開～」	日本財団 CANPAN 運営事務局	SR
11 月 21 日	CSR 推進セミナー 「これからの CSR 地域ぐるみで進める SR～」	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会	SR
11 月 29 日	みよし市まちづくり・人材育成事業連続講座 市民力 UP ワーク「まちづくり、まち育ては、市民の 手で」「対策を体系化しよう」	特定非営利活動法人 あいち NPO 市民ネットワークセン ター	その他

2010 年度事業報告

資料 1 : 講師派遣一覧

12 月 3 日	SPF「人口変動の新潮流への対処」事業 人口減少社会と移民政策～政策提言に向けて「日本 の多文化共生・社会統合—現状と課題」	笹川平和財団	ダイバ ーシティ
12 月 4,5 日	ふわりんクルージョンセッション—共生の可能性を 探る」「誰が生きにくく、誰が豊かなのか」	特定非営利活動法人 ふわり	ダイバ ーシティ
12 月 7 日	福祉施設職員等に対する人権研修 「ダイバーシティ社会の形成と人の多様性に配慮し た職場づくり」	社会福祉法人 大阪府総合福祉協会	ダイバ ーシティ
12 月 9 日	男女共同参画委員会公開学習会「国際標準化時 代の CSR と男女共同参画～始動する ISO26000 と ステークホルダーエンゲージメント～」	日本生活協同組合連合会 関西地連	SR
12 月 10 日	ISO26000 勉強会 「ISO26000 で「協働」から「総働」へ～地域ぐるみで 進める SR のこれから～」	特定非営利活動法人 多文化共生リソースセンター	SR
12 月 17 日	国際協力ワークショップ 「ソーシャル・ビジネスが進化させる国際協力活動 ～マルチステークホルダーで進める課題解決への 取り組み～」	特定非営利活動法人 関西国際交流団体協議会	その他
12 月 20 日	みよし市まちづくり・人材育成事業連続講座 市民力 UP ワーク「まちづくり、まち育ては、市民の 手で」	特定非営利活動法人 あいち NPO 市民ネットワークセン ター	その他
12 月 24 日	平成 22 年度人権教育研修会 「地域で進める社会責任～ISO26000 時代の自治 体施策と人権のまちづくり～」(鈴木)	奈良県教育委員会 学校教育課	SR
(2011 年) 1 月 31 日	みよし市まちづくり・人材育成事業連続講座 市民力 UP ワーク「まちづくり、まち育ては、市民の 手で」	特定非営利活動法人 あいち NPO 市民ネットワークセン ター	その他
2 月 15 日	亀山市男女共同参画に係る企業懇談会 「地域で支持される企業の社会責任とダイバーシ ティ戦略～ISO26000 時代の経営と中小企業の CSR とは?～」	三重県亀山市役所	SR
2 月 25 日	多様化する国際協力 NGO と企業のパートナーシッ プ シンポジウム 「進化する NGO と企業の役割、マルチステークホ ルダーで取り組む貧困削減」	国際協力 NGO センター	SR
3 月 9 日	働きやすい職場環境推進シンポジウム 「経営戦略として多様な人財の活用を考える～しな やかで強い組織づくりの処方箋～」	長岡市雇用対策協議会	SR
3 月 22 日	平成 22 年度男女共同参画れいんぼう講座 「多様性のある組織、社会を考える～地域で支持 される企業の社会的責任とダイバーシティ戦略～」	三重県伊勢市役所	SR

2010 年度事業報告

資料 2 : 執筆一覧

外部からの原稿依頼・取材等のうち、一般にご購読可能なものは下記の通りです。

寄稿雑誌名	発行者	テーマ
外国人労働者問題をめぐる資料集Ⅱ、Ⅲ、事例集	笹川平和財団	日本の地域社会における社会統合・多文化共生の現状
「NPO マネジメント」(第 65 号～71 号)	IIHOE(人と組織と地球のための国際研究所)	【ケーススタディ: 地域で進める社会責任(SR)】 第 11 回「多様な人・組織が集まってつくる福祉」 ～「知多半島型」地域福祉モデルに学ぶ～ 第 12 回「学生や地元企業とともに進める地方都市の SR」 ((特)新潟 NPO 協会)」 第 13 回「公共調達における地方自治体の役割障害者雇用ナンバーワンをめざす大阪府の取り組み」 第 14 回「専門性の高い NPO との連携で、地元企業の女性登用を後押しする福井県の取り組み」 第 15 回「政労使の三者合意をベースにした兵庫県のワーク・ライフ・バランスの取り組み」 第 16 回「フードバンクを活用した福祉アプローチで循環型社会をめざす取り組み」 第 17 回「より魅力のある団地づくりをめざす取り組み～高島平再生プロジェクト～」
経済Trend	日本経団連	多文化共生社会を担う次世代の育成を
季刊誌「CEL」Vol.96 「持続可能な未来につながる CSR」	大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)	生活者と企業がともに担う社会責任—社会課題の解決と CSR の展開

■環境報告

	電力使用量(kwh)	CO2 換算(kg-CO2)	紙使用量	
大阪事務所	6151	2430	22500	多文化共生センター大阪と同室
東京事務所	8378	3178.71	25000	CSO ネットワークと同室(紙使用量はダイバーシティ研究所単独。CSR 報告書の印刷に大量使用。)

一般財団法人ダイバーシティ研究所

代表理事：田村 太郎

理事：鈴木 暁子（研究主幹）、前川 典子、山本千恵

研究員：清水 圭子、濱本 知美

客員研究員：関原 深

評議員：川北秀人、黒田かをり、山中文

2011 年 8 月発行

【大阪事務所】

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 4-6-19 木川ビル 5 A

TEL : 06-6390-7800 FAX : 06-6390-7850

【東京事務所】

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 アバコビル 5F

TEL : 03-6233-9540 FAX : 03-6233-9560

E-mail:office@diversityjapan.jp URL : <http://www.diversityjapan.jp/>